

ニッペジンキー1000GU

厚膜形無機ジンクリッチペイント

☐ 規格表示
☐ 特長

JIS K5553 厚膜形ジンクリッチペイント 1種
・厚膜塗装が可能です。
・素地との付着性がすぐれています。
・防錆性がすぐれています。

☐ 塗料性状

		塗料液	粉末			
色		淡黄色	グレー			
密度(g/cm ³)(23℃)		2.23 (混合塗料) 6.12 (粉末) 0.90 (塗料液)				
光沢		—				
引火点		14℃	—			
発火点		278℃ (参考値)	—			
消防法表示	化学名	合成樹脂クリヤー塗料	—			
	危険物区分	第4類 第1石油類(非水溶性)	—			
	危険物等級	II (火気厳禁)	— (—)			
有機溶剤区分		第2種	なし			
毒劇物表示		—	—			
有害物表示		—	—			
国連/指針番号		1263/128	—			
環境性能	クロルピリホス	配合せず	ホルムアルデヒド	配合せず	トルエン	4.3%
	キシレン	配合せず	パラジクロロベンゼン	配合せず	エチルベンゼン	配合せず
	スチレン(モノマー)	配合せず	フタル酸ジ-n-ブチル	配合せず	テトラヒカン	配合せず
	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	配合せず	ダイアゾノ	配合せず	アセトアルデヒド	配合せず
	フェノールカルバ	配合せず	鉛	配合せず		
T V O C		20.3%				

・塗料性状に記載の数値は、全て代表的な色相、つやを想定しています。
・加熱残分(%)：77 (混合塗料液) 25 (塗料液) 100 (粉末)

☐ 塗装基準
下地調整：
混合：
希釈剤：
希釈剤：
塗装方法：

・ブラスト処理によりISO Sa2 1/2以上に除錆してください。
2液形のため、「塗料液：粉末=30：70 (重量比)」に混合し、十分にかくはんしてください。
25kgセット(塗料液：粉末=7.5kg：17.5kg)
5時間 (23°C)
ニッペジンキー-1500シナー

塗装方法	エアレススプレー塗り
希釈率	0~5%
使用量	0.60kg/m ² /回
膜厚(ドライ)	75μm/回
膜厚(ウェット)	125μm/回

・上記の数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。
・一次圧0.4~0.5MPa 二次圧8~15MPaでジンクリッチ専用エアレスが望ましいです。チップNo.163-617、619など

エアレス条件：
乾燥時間：

	5°C	23°C	30°C
指触乾燥	60分	30分	20分
半硬化乾燥	3時間	2時間	1時間
塗り重ね乾燥	3日以上12ヶ月以内	48時間以上12ヶ月以内	48時間以上12ヶ月以内

・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

□ 注 意 事 項

- ・粉末は亜鉛末ですので、水ぬれ禁止です。
 - ・ニッペジンキー1000Pの上に塗り重ねる場合は必ずブラスト処理を実施してください。
 - ・塗り重ね乾燥時間が長くなった場合、白さびの発生や付着阻害因子の付着が考えられます。塗膜状態に応じた下地調整を行った上で次行程の塗装を行って下さい。
 - ・かくはんはディスパーで行い、ご使用中もかくはんを続けてください。
 - ・希釈剤は必ず専用シンナーを使用してください。専用シンナー以外を使用しますと、付着不良などを起こす可能性があります。
 - ・調査後80～100メッシュのふるいでろ過してから使用してください。
 - ・低湿時(50%以下)での塗装の場合は所定以上の塗り重ね乾燥時間をとってください。
 - ・1回塗りで150 μ mを超えるとワレが生じますので注意してください。
 - ・2液型エポキシ系塗料などを塗り重ねる前に封孔処理(ミストコート処理)が必要です。
 - ・油性、フタル酸樹脂塗料など、耐アルカリ性の劣る塗料は塗り重ねができません。
 - ・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行ってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
 - ・作業前に容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。
 - ・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品安全に関する詳細な内容は安全データシート（SDS）をご参照ください。